

平成22年10月26日
三菱製紙株式会社

高性能加湿・蒸散用素子「アクア・アクセル」を開発

三菱製紙株式会社は、加湿・蒸散性能が良く、耐久性に優れた素子（商品名：アクア・アクセル）を開発致しました。

加湿・蒸散素子とは、吸液性の優れた濾材を加工した素子に、水等の液体を吸液させ、風を当て、液体を蒸発させる役割をもった部品です。加湿器やドレン水の処理装置に使用されています。

加湿分野において、当社品は、抄紙技術を活用した特殊濾材による業界最高水準の保水・吸い上げ性能、高レベルの抗菌防カビ性、当社独自のコルゲート形状による低圧力損失、長寿命という特性を生かし、主に家庭用加湿空気清浄機や加湿器用の加湿フィルターとして、多くのユーザー様に長年ご採用頂いておりました。

一方、業務用の加湿蒸散・ドレン水処理分野においては多量の水や水道水より負荷が大きい様々な水を吸水・蒸散する必要があり、家庭用以上に耐久性が必要とされ、安価で高性能な蒸散材料の市場要望がありました。

当社は独自の親水化処理技術を用い、高負荷状態における濾材の吸水耐久性能を改善、フィルター加工技術と組み合わせることで、低コストの業務用の高性能加湿・蒸散素子を開発し、この度「アクア・アクセル」という名称で商品化致しました。

様々な形状に対応でき、またハンドリング性が良いので、既存装置への置き換えも可能であることから、すでにショーケース・業務用エアコン・冷風扇等の用途で採用・検討して頂いており、その性能について高い評価を得ております。

今後、当アクア・アクセルに難燃性等の付加価値をつけることで、設備空調など他分野への展開を図って参ります。

また家庭用においても、新型インフルエンザの流行対策において、加湿の有効性が改めてクローズアップされました。上記技術を活用した家庭用素子への再展開を図って参ります。

これらの分野へ展開することにより、加湿・蒸散事業での3年後の売上高は5億円を目指しております。

本件に関するお問い合わせ先：

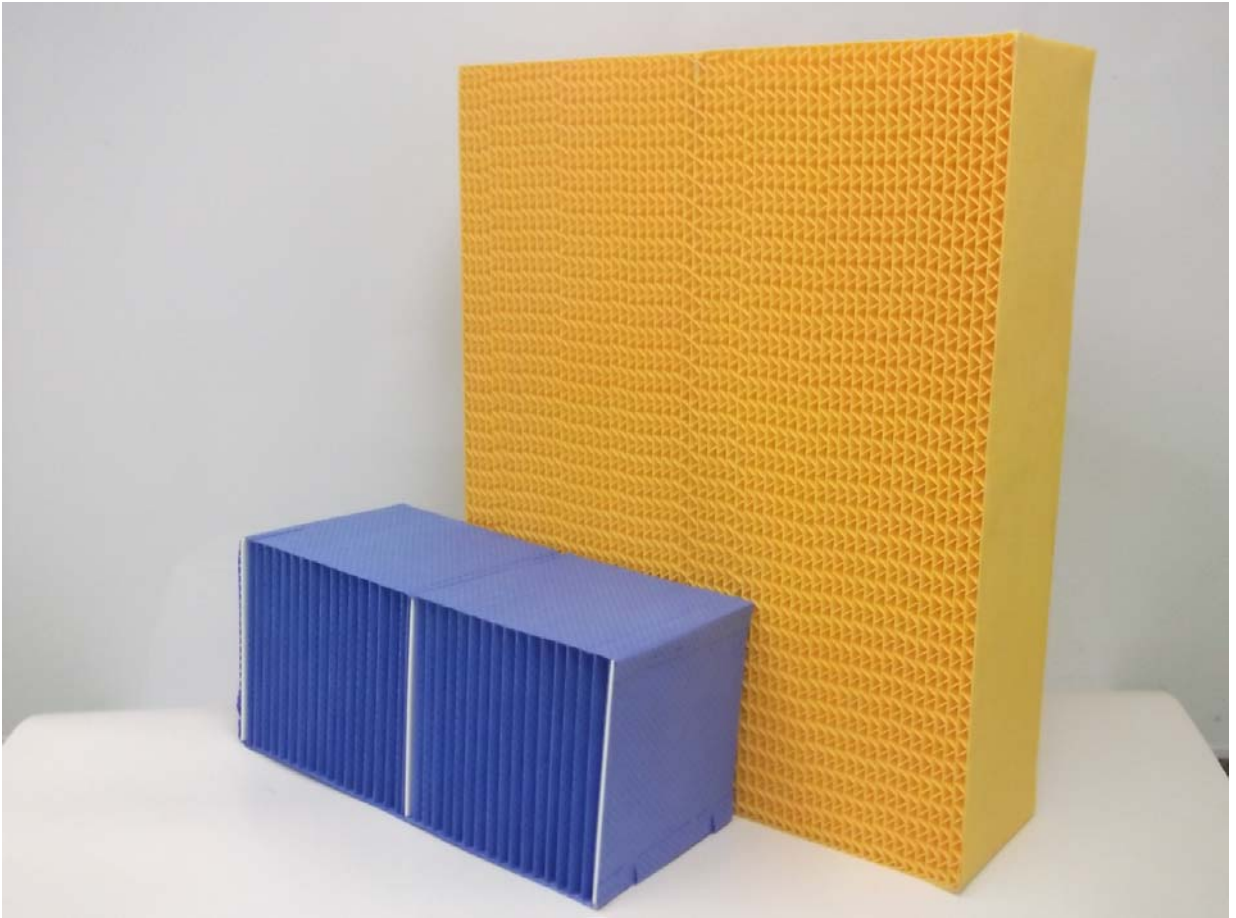
三菱製紙株式会社

イメージング&ディベロップメントカンパニー

新事業開発ユニット フィルター事業室

佐々木 剛、花生(はなお) 裕之、奥 恭行 電話 048-912-0010

—アクア・アクセル—



以上